

○田村駅利用者アンケート結果概要

駅が単なる駅舎機能をもつだけでなく、人の集まる拠点として機能するよう、駅周辺を利用しやすい周辺環境とするため、田村駅利用者の意見や要望をアンケートによって聞き取りを行いました。調査の統計結果を見ると、田村駅の一般的な利用者層や利用傾向、周辺整備でのニーズなどとして、次のような結果がでています。

◇調査概要

【調査日】 平成29年11月29日（水）14：00～19：10

【調査方法】 アンケート用紙の直接配布による調査

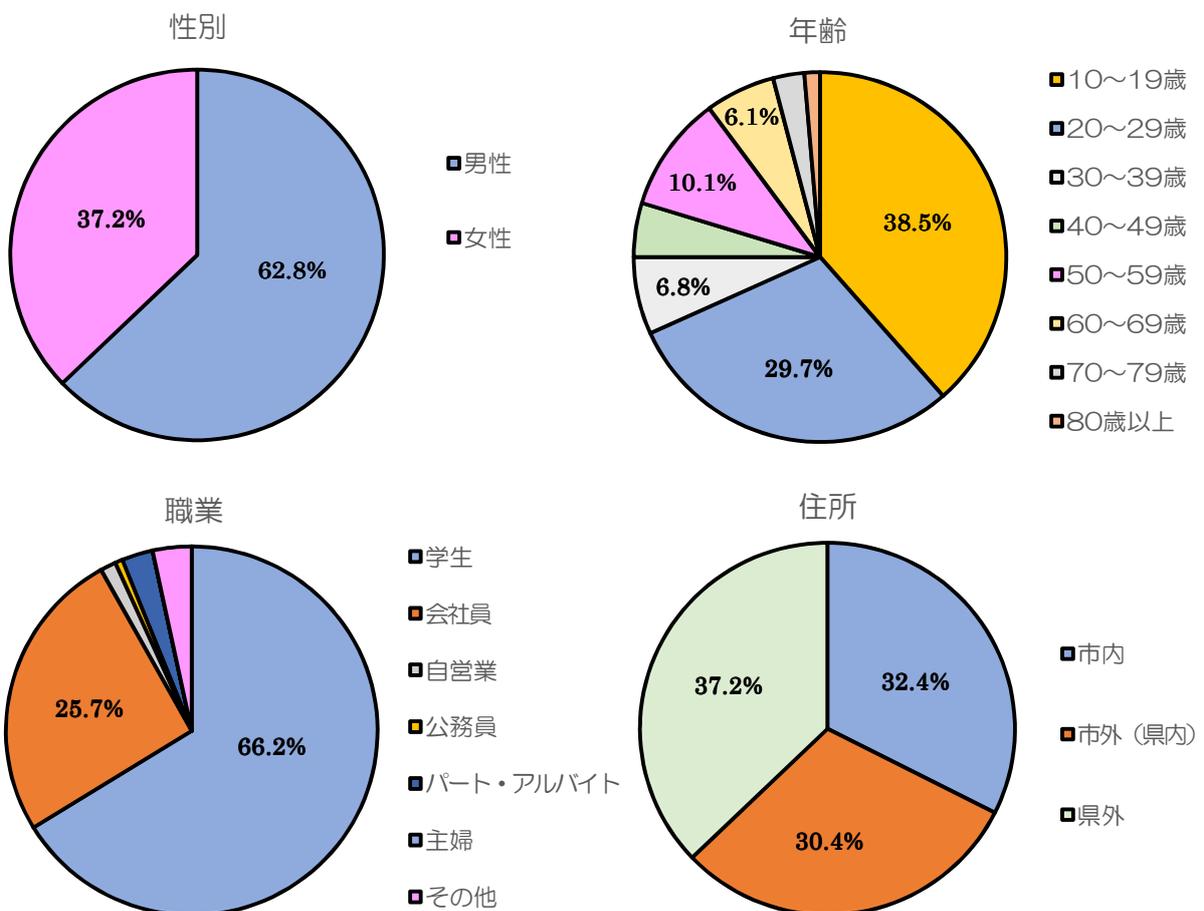
【調査場所】 田村駅西口・東口

【回答者数】 149人※

※うち1人は意見のみでアンケート記載がなかったため、母数（N）からは除く（N=148）

◇田村駅の利用者層

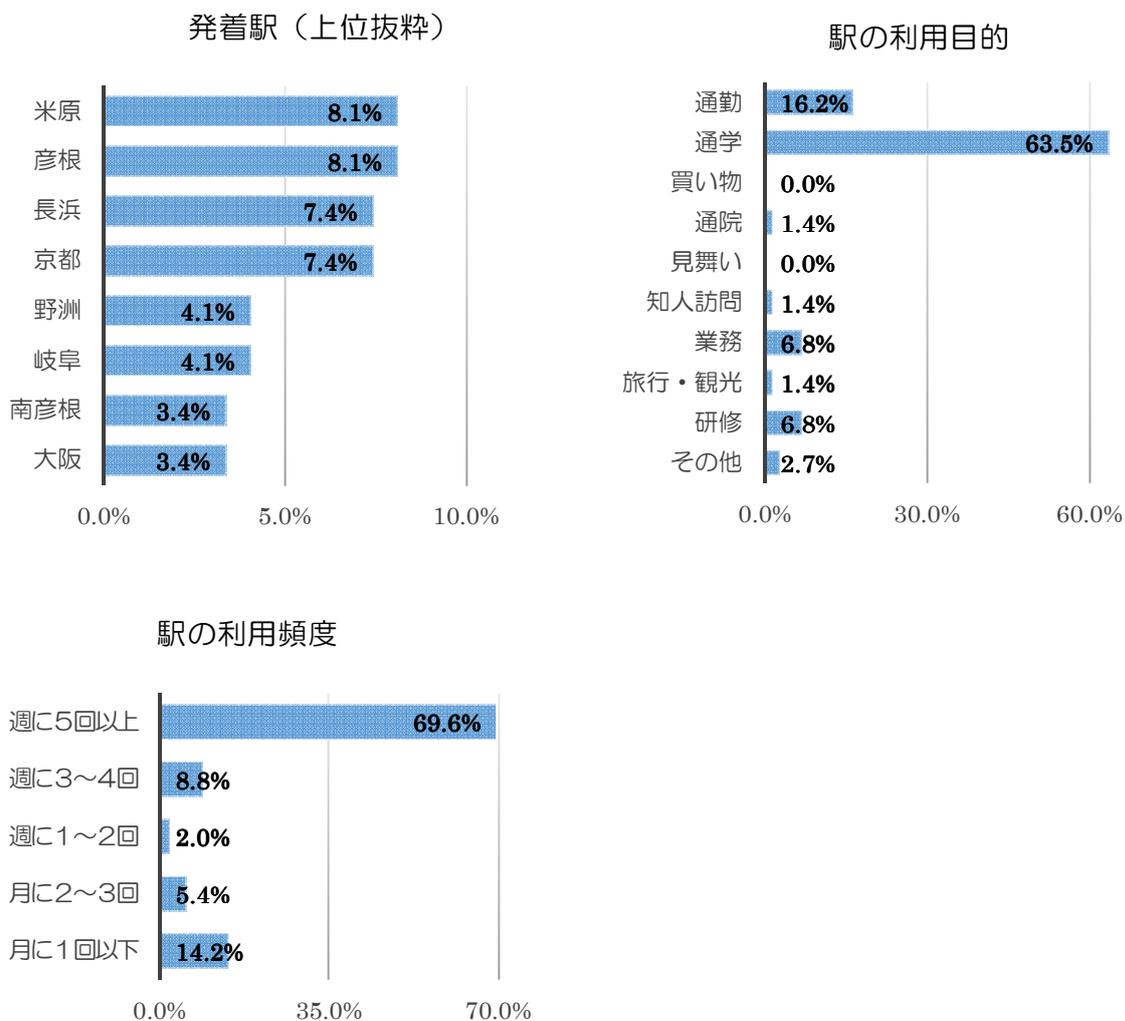
- ・利用者の性別比率はほぼ2/3が男性で、利用者の年齢層は10～29歳の若者が2/3を占めた。
- ・利用者の職業を見ても「学生」が66.2%と高く、次いで「会社員」の25.7%となった。
- ・住所では、「市内」が33.7%、「市外（県内）」が30.4%、「県外」が37.2%と偏りの少ない結果となった。「市内」の利用者の中の29.2%が六荘地区の住民であり、「市外（県内）」の中では、彦根市が31.1%と多く、「県外」の中では、京都府が29.1%、岐阜県が20.0%を占める。



※ グラフ上では、5%未満の数値は非表示

◇田村駅の利用状況

- ・利用者の田村駅を起終点とした発着駅のなかでは、米原駅、彦根駅が8.1%と最も多く、次いで長浜駅、京都駅が7.4%となる。
- ・利用者の利用目的を見ると、「通学」の63.5%がとかなり高く、次いで「通勤」の16.2%、「業務」と「研修」が6.8%となった。
- ・駅の利用頻度では、「週に5回以上」が69.6%と圧倒的に多く、次いで「月に1回以下」の14.2%、「週に3～4回」が8.8%となった。



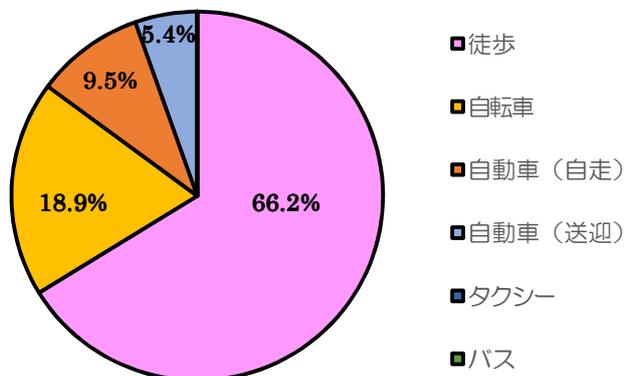
【参考】田村駅乗降客数調査（平日）

当該日の乗降客数 3,336 人のうち、通勤者が 634 人（19.0%）、大学生が 1,436 人（43.0%）、小中高生が 1,098 人（32.9%）、小学生未満が 5 人（0.1%）、その他一般が 163 人（4.9%）であった。

◇二次交通の利用傾向

- ・利用者の田村駅を起終点とした二次交通利用傾向としては、「徒歩」が66.2%とかなり高く、次いで「自転車」の18.9%、「自動車（自走）」が9.5%となる。バス・タクシーの利用者はいなかった。

電車以外の二次交通の利用状況



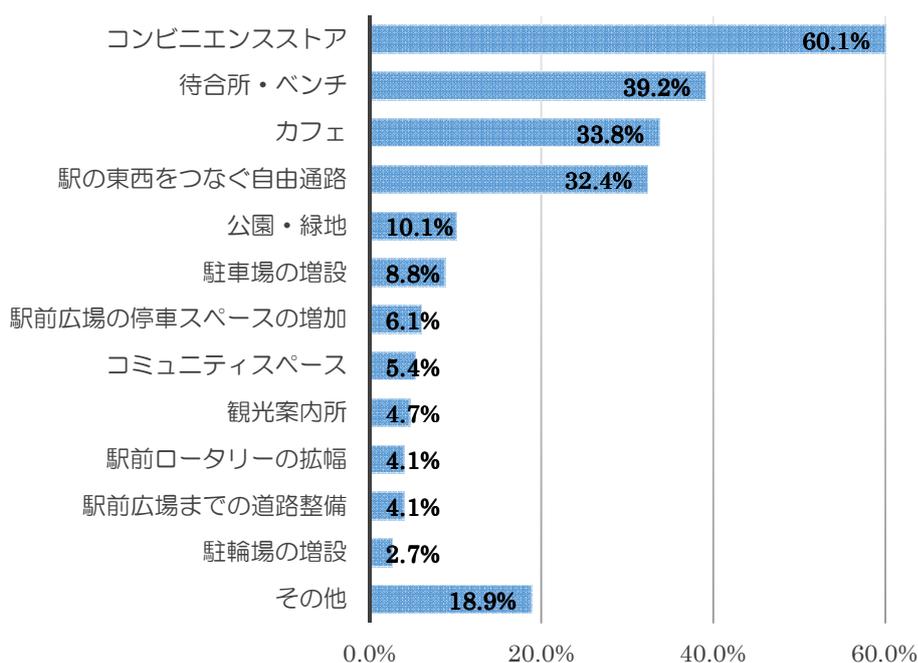
◇駅周辺で望まれる施設や設備

- ・駅周辺で望まれる施設や設備としては、「コンビニエンスストア」が60.1%と最も多く、次いで「待合所・ベンチ」や「カフェ」、「駅の東西をつなぐ自由通路」の比率が30%を超えて多い。
- ・「その他」として多く挙げられていたのは、「冷暖房」で待合室に備えてほしいとの声が多かった。（「その他」の詳細は次のとおり）進捗

その他意見（意見数）

冷暖房（8）、エレベーター（3）、カラオケ（3）、スーパー（2）、飲食店（2）、マクドナルド（2）、100円均一ショップ（2）、特になし（2）、信号機（1）、多機能トイレ（1）、街灯（1） など

駅周辺で望まれる施設や設備



◇その他の田村駅に関するご意見・ご要望

- ・橋上駅にしてほしい
- ・駅を橋上化しないでほしい
- ・有人駅（JR駅員でなくても人を置いた駅）としてほしい
- ・電車の待ち時間を快適に過ごせる場所がほしい
- ・東西を切符なしで渡れるようにしてほしい
- ・電車着発時刻（遅延情報含む）の電光掲示板がほしい
- ・ホームの改良（拡幅、屋根設置、雨風よけの壁設置、虫駆除）をしてほしい
- ・電車を増便してほしい
- ・自動改札機を設置してほしい
- ・イコカの機械を更新（定期イコカ対応、500円チャージ対応）してほしい
- ・田村駅からのバスルートに長浜農高を入れてほしい
- ・市場東の竹藪を何とかしてほしい
- ・トイレに荷物をおくスペースを設置してほしい
- ・なにもなさすぎて一番さみしい駅
- ・今のままで最高です

田村駅利用者の多くを占めるのは学生で、彼らは、行き帰りに寄れる「コンビニ」や電車の待ち時間を過ごせる「カフェ」「待合所・ベンチ」に対するニーズが強い。また、「公園・緑地」を求めている人のほとんどが学生であることも注視すべき点である。学生の次の利用者となる通勤者にとっても、行き帰りに寄れる「コンビニ」が求められており、これに次いで、東西を渡れる「自由通路」が求められている。第3の利用者となるのは、イオンディライトや長浜ドームの利用者で、これは利用頻度の少ない人が日に入れ替わって利用されており、彼らは昼食を買える「コンビニ」や電車の待ち時間を過ごせる「カフェ」のニーズが高い。